

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	デイサービスセンター「ゆり花荘」	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢 課
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日	評価者(課長)	土田 孝

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	令和6年度利用者延べ人数5,180人(前年比431人減) 利用者実人数89人 平均回数7.3回 開所日309日 日平均16.7人 定員比率66.8%
サービス向上の取組	①時間外の受入も柔軟に対応し家族の介護負担軽減に努めた。②ケアマネへの空き情報や広報誌を配布した。③ご利用者、家族へも季節ごとに広報誌を配布した④バスハイク等外出回数は少なかったこともあり、施設の装飾に力を入れ利用者と一緒に飾りつけ作成した。また、余興ボランティアも定期的に来て頂いた。⑤通信カラオケシステムを導入した。⑥新規利用者や更新時の会議の際に、ゆり花荘紹介動画を視聴して頂いた。⑦導入しているリハビリソフトで運動プログラムを実施し定期的に評価を行った。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	593	506	480	1,579	基本協定額: 1,579 千円
	利用料金	3,849	3,640	3,353	10,842	利用者食費
	事業収入	52,823	49,465	46,559	148,847	介護報酬等
	自主事業収入	0	0	0	0	
	その他		9		9	
	収入合計 ①	57,265	53,620	50,392	161,277	
支出	人件費	46,685	47,517	44,520	138,722	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	162	151	178	491	健康管理費等
	事務費	118	156	187	461	事務諸経費
	管理費	4,553	5,284	5,655	15,492	
	水道光熱費	2,521	2,573	2,849	7,943	電気料、上下水道料等
	修繕料	210	501	217	928	施設修繕
	使用料・リース料	322	750	1,151	2,223	機器リース料等
	手数料・保険料	388	343	463	1,194	賠償責任保険料等
	委託料	1,112	1,117	975	3,204	施設警備、清掃委託等
	事業費	4,204	3,904	3,986	12,094	介護消耗品等事業運営経費
	自主事業経費	0	0	0	0	
その他	2,570	2,879	2,879	8,328	リース債務返済	
支出合計 ②	58,292	59,891	57,405	175,588		
収支差額(①-②)	▲ 1,027	▲ 6,271	▲ 7,013	▲ 14,311		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考(所管評価) (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	△	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	△	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
<ul style="list-style-type: none">・物価高騰もあるが、経費削減に努めていた。下半期は新規利用者が少なく、利用者数の減少があり収入が予算よりも減少。・職員不足、職員高齢化が進んでいる。特に看護師の代替が深刻な問題である。今後は営業にも支障がでてくる恐れがある。 ・新型コロナウイルス感染症に関しては、変わらず感染対策を講じて運営している状況。他指定管理施設で休業したケースもあるので、引き続き注意必要。
(2) 課題解決に向けた取組
<ul style="list-style-type: none">・消耗器具等の購入は金額比較し少しでも安い業者から購入する。・新規利用者、継続利用者の担当者会議では、ゆり花荘紹介動画を視聴して頂き、満足度向上を図った。・業務の効率化の為、ICT導入を実施している。科学的介護推進体制加算、ADL維持等加算の管理ソフト使用することで人件費削減を講じた。・感染症対策は引き続き今までと同様の対策を講じることで安全に運営できていた。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
<ul style="list-style-type: none">・利用者満足度調査(アンケート調査)を実施し、送迎時間や入浴、食事等についてのご意見を頂いた。・利用回数について『本人の承諾があれば今冬から週3回の利用を考えている』、『一人で家にいるのが寂しいので出来ればもう1回増やしたいです』とアンケートにあり、早急にケアマネに連絡をとり、回数増に繋げています。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
<ul style="list-style-type: none">・昨年度より利用者実績、介護保険での収入は減少となった。新規利用者数の減少が大きく影響していた。広報誌等で施設アピールも実施していた。下半期がとくに新規獲得数が少なかったが、令和7年度にかけて増加傾向にあり、今後も継続してアピールすることで収入増を図りたい。職員不足が深刻となっている。特に看護師の代替不足が深刻であったり、他職種でも年齢層が高い事も今後検討が継続して必要である。
(2) 施設所管課の評価
<ul style="list-style-type: none">・利用者の意向を確認し、ケアマネと連携して利用増に結びつけている。・経費の節減を図っている。・さまざまなボランティアの受け入れやゆり花会館で開催される事業などへ参加したりと、コロナ対策を行いながら地域との交流も行っている。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
<ul style="list-style-type: none">・今後も、新規利用者や継続者の利用回数の調整など、ケアマネとの関係を密にして、利用が増えるような取組をお願いしたい。